

2025 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
|---|------------|-----------------|---|--------------------------------|-------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 柔道整復実践実技Ⅲ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時間 | 後期 | 教室名 | 第2校舎3階実技室 |
| 担 当 教 員 | 林 了大 | 実務経験と その関連資格 | 接骨院の院長(柔道整復師)として、1999年～2014年勤務経験あり。 公益法人兵庫県柔道整復師会 阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 履修内容の復習を徹底して行う。実技試験前に認定実技審査形式で練習を行う。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験評価:100%(財団実技試験に準じる形式にて実施する) | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集) 適宜資料の配布を行う | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 柔道整復学理論編ならびに実技編を用いて、骨折・脱臼・軟部組織損傷の各項目を復習しておくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 3年生時の認定実技審査で、学生が実力を発揮できるように、2年生から認定実技審査の形式に慣れてもらう。次年度の11月に行われる認定実技合格に向けての第一段階となる。積極的に練習して欲しい。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 鎖骨骨折の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 鎖骨骨折を各自で確認しておく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 認定実技審査の説明、上肢の神経・血管損傷の確認方法、鎖骨骨折 | | | |
| 第2回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 上腕骨外科頸骨折の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 上腕骨外科頸骨折を各自で確認しておく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上腕骨外科頸骨折 | | | |
| 第3回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | コーレス骨折の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 コーレス骨折を各自で確認しておく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | コーレス骨折 | | | |
| 第4回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩鎖関節上方脱臼の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 肩鎖関節上方脱臼を各自で確認しておく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩鎖骨関節上方脱臼 | | | |
| 第5回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩関節脱臼の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 肩関節脱臼を各自で確認しておく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肩関節前方脱臼 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|--|
| 第6回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節脱臼の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 肘関節脱臼を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肘関節後方脱臼 | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘内障の整復法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 肘内障を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 肘内障 | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腱板損傷、上腕二頭筋損傷の検査法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 腱板損傷 上腕二頭筋損傷を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腱板損傷、上腕二頭筋長頭損傷 | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | ハムストリングス損傷、大腿四頭筋損傷の検査法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 大腿四頭筋損傷 ハムストリングス損傷を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ハムストリング損傷・大腿四頭筋打撲 | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 膝の側副靭帯損傷・十字靭帯損傷の検査法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 膝の側副靭帯損傷・十字靭帯損傷を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝関節 側副靭帯損傷・十字靭帯損傷 | | |
| 第11回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 膝の半月板損傷、下腿三頭筋損傷の検査法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 膝の半月板損傷、下腿三頭筋損傷を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 膝関節 半月版損傷 下腿三頭筋肉離れ | | |
| 第12回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 足関節外側靭帯損傷の検査法を行えるようになる。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 足関節捻挫を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 足関節外側靭帯損傷 | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 後期で習得した各項目ができるように復習する。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 各項目を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実技試験形式での復習 | | |
| 第14回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 後期で習得した各項目が、認定実技審査合格の水準に達する。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 各項目を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 後期のまとめ(前半) | | |
| 第15回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 後期で習得した各項目が、認定実技審査合格の水準に達する。 | 柔道整復学理論編・実技編(全国柔道整復学校協会編集)プリント | 柔道整復理論 各項目を各自で確認しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 後期のまとめ(後半) | | |